

2015/04/04(土)20:43

授業科目名	薬学演習	単位数	1.5
担当教員	福森 義信	開講キャンパス	ポートアイランド*
開講学期	2015年度 前期	曜日時限	火曜1限
授業の目的	<p>将来、薬剤師をはじめとして医療関連領域で活躍するためには、患者・医療従事者とのコミュニケーション能力が必須であり、他者の意見を拝聴し、自己の意見を適確に発信する能力が求められる。しかしながら、講義などの一方的な多数教育のみでは、それらの技能・態度を身につけるのは困難とされる。したがって、「薬学演習」は少人数グループで編成され、担当教員あるいは学生自身が提案するテーマに対し、それぞれが調査した成果を発表し、お互いに意見交換を行うスタイルで実施される。これらの演習を通じて、学生が「自ら学ぶ態度」「ディベート技能」を習得し、「コミュニケーションおよび問題解決能力」を身につけることを目的とする。さらに、本演習中に、ヒューマニズムおよびマナー教育も併せて行われる。</p> <p>本演習の内容:薬物を投与するために、錠剤、カプセル剤、顆粒剤、注射剤などの種々の製剤が用いられているが、有効性を高めるためにはいろいろな工夫が必要になる。しかし、抗癌剤のように副作用が強くて、未だ治療効果が十分に発揮できないものも多い。現在、薬物送達システム(DDS)といわれる「工夫された製剤」によって、治療上の困難が克服されようとしている。最新のDDSについて学び、将来の可能性について討論します。</p>		
到達目標	<p>A-(1)-①-1. 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。  A-(1)-①-6. 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。  A-(1)-②-1. 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。  A-(2)-②-2. 薬剤師が遵守すべき倫理規範(薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等)について説明できる。  A-(2)-④-3. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規を遵守して研究に取り組む。  A-(2)-③-1. 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。  A-(2)-③-3. 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。  A-(3)-②-2. 患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動する。  B-(1)-1. 人の行動がどのような要因によって決定されるのかについて説明できる。  B-(1)-4. 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。  E3-(1)-②-1 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料の分類について概説できる。  E3-(1)-②-5. 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。  E3-(1)-③-1 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)  E3-(1)-⑦-1 病院や薬局において医薬品を採用・選択する際に検討すべき項目を列挙し、その意義を説明できる。  E4-(1)-②-1 経口投与された薬物の吸収について説明できる。  E5-(2)-①-1 製剤化の概要と意義について説明できる。  E5-(3)-①-1 DDS の概念と有用性について説明できる。  E5-(3)-②-1 コントロールドリリースの概要と意義について説明できる。  E5-(3)-③-1 ターゲティングの概要と意義について説明できる。  E5-(3)-④-1 吸収改善の概要と意義について説明できる。</p>		
授業のキーワード	薬物送達システム、癌治療、医薬品製剤		
授業の進め方	計画に従って行います		
履修するにあたって	<p>活発に討論してください。本演習の担当教員が2年生・3年生時の担任となる。  オフィスアワー:毎週水曜日14:00-16:00. 予めメールで問い合わせてください:  fukumori@pharm.kobegakuin.ac.jp</p>		

## &lt;授業計画&gt;

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション	
第2回	マナー講習1	
第3回	担任による解説	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例についての報告を聞き、討論する。
第4回	課題の設定、情報収集、発表資料の作成	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例について、テーマを決めて情報を収集する。
第5回	ヒューマニズム教育1	わが国でこれまでに起こった薬学または薬剤師に関連した事件(新聞記事)をテーマに、薬剤師の倫理規範や法令に違反した場合の問題点や社会的影響等について討議する。さらに医薬品の研究開発や製造における薬事関連法規について学ぶ※グループで討議した結果をまとめ、発表する。

第6回	ヒューマンズ教育2	がん患者の講演を聴き、自らが生きている意味や役割について考える。患者の置かれている状況や医療者に対する思いを理解する。 さらに患者が体験したがん治療の実際について知る※ 授業後、.Campusを通じて、自らの考えを述べ、または他者の意見を採り入れ、医療者に求められる役割について、理解を深める。
第7回	課題の設定、情報収集、発表資料の作成	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例について、テーマを決めて情報を収集する。
第8回	プレゼンテーションと討論	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例についての報告を聞き、討論する。
第9回	プレゼンテーションと討論	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例についての報告を聞き、討論する。
第10回	プレゼンテーションと討論	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例についての報告を聞き、討論する。
第11回	マナー講習2	
第12回	プレゼンテーションと討論	医薬品製剤、DDS、癌治療の実際の例についての報告を聞き、討論する。
授業時間外に必要な学修	発表資料を作成する。	
提出課題など		
成績評価方法・基準	1. 検索したDDSの情報を適切に整理して発表できる(40%)。 (内訳) 1) PPTファイルが適切に作成できる(20%)。 2) わかりやすく発表できる(20%)。 2. 質疑応答を積極的にできる(60%)。 (内訳) 1) 質問に適切に答えられる(30%)。 2) 質問回数に応じて配点(30%)。	
テキスト		
指定図書		
参考書		